

## 平和と人権を守るために～心の国際化とは～

平成20年(2008年) 5月31日にメシアターで『憲法と市民のつどい』が開催され、ジャーナリストでコリア・レポート編集長の辺 真一(ぴょん・じんいる)さんの講演がありました。辺さんは韓国・北朝鮮に関わる問題を中心に、平和と人権を守るためには、互いに歩み寄り理解しあうことの大切さをユーモアを交えながら分かりやすくお話をされました。

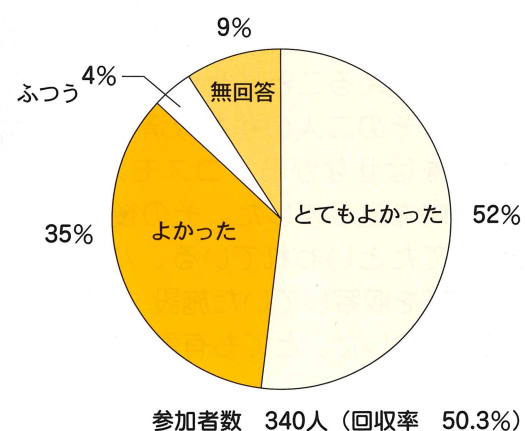
また、上之山幸代さんのアルパ(南米のハープ)演奏はトークもあり、とても楽しく、心に響きました。



### 【参加者の感想】

- ◎ 在日の方への就職や結婚に関する偏見は私の周りでもありました。そのようなことが許されていた時代があったことを忘れずに、偏見や差別のない地域になることを望んでいる。
- ◎ 辺さんの誠実な人柄に引き込まれました。改めて拉致問題の話に心を奪われました。真実を聞いてよかったです。人権尊重とか和解の意味がよく分かりました。
- ◎ 生活の場での差別、本名を名乗れないの問題など、身近な例を挙げてのお話は分かりやすく、納得できた。
- ◎ アルパは初めて聴きましたが、その力強い音にも弾き方にも驚きました。トークを交えての演奏は大変良かったです。

アンケート結果  
(問) この行事に参加してよかったですか？



## あなたも人権啓発推進委員になりませんか！

人権啓発を目的に、各地区でいろいろな行事が行われています。あなたも人権啓発推進委員になって、一緒に活動しませんか。

興味をお持ちの方は、下記の人権協事務局までお問合せください。

ひと・あい・ふれあい

発行／吹田市人権啓発推進協議会

事務局：吹田市 自治人権部 人権平和室 内  
〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

電話 06-6384-1539

FAX 06-6368-7345

E-mail jin\_kent@city.suita.osaka.jp

(人権協だよりは、再生紙を使用しています)



じんけんネット吹田

No. 25

平成20年(2008年)11月

日時 12/7 (日) 13:30 ~ 16:00

場所 メシアター中ホール

入場無料 手話通訳あり

## —2008— 人権フェスティバル ～親から子へ～

これからは『人権習慣』

ちがいを認め合い、共に生きることのできる社会をめざし、「人権フェスティバル」を開催します。

今回の「人権フェスティバル」は、ジャーナリストの江森陽弘さんをお招きします。「人権とは、他人の心を傷つけないこと。幼少期に親から子へ、人権を習慣とすること」についてお話していただきます。

また、コンサートは、ロス・チャンカスをお招きして、アンデス地方の民族楽器を使った演奏をしていただきます。

皆さんのご参加をお待ちしています。



え もり よう こう  
江森 陽弘さん

ジャーナリスト



「アンデスに響く歌声」

ロス・チャンカス

■じんけん作品・パネル展  
12/4(木)～10日(水)10時～17時  
メシアター 1階展示室  
■人権週間に関する書籍コーナー  
市立図書館、男女共同参画センター

いきいき参加！  
～吹田市障害者体育祭～

障害者が身体を動かすことの喜びを感じ、健康維持・増進や意欲の向上をめざし、毎年実施しています。本年度は、9月21日に北千里市民体育館で開催し、約460人の参加がありました。

競技は15種目で、誰でも参加できるよういろいろと趣向を凝らしたもののばかりでした。今年はウサギやクマなどの着ぐるみも登場し、大いに盛り上がり、参加者はみんな楽しく秋の1日を過ごされました。



大忙し！ハンバーガーショップ



ねらえ！3つの輪

これからも、体を動かす楽しさや喜びを知っていただき、参加者相互の交流を深めてもらいたいです。来年も更に良い体育祭となるように企画したいと考えています。

吹田市立北千里市民体育館 体育指導員 藤井 敬子





吹田市 平和の塔

「非核平和都市宣言」25周年にあたる本年度は、8月5日、6日に広島へ、計34名(内中学生17名)が平和大使として派遣されました。

吹田市長から広島市へのメッセージ伝達、平和記念資料館等の見学や平和記念式典への参列を通して、核兵器の恐ろしさと平和の尊さについて考える機会となりました。

## 市民の祈い・・・平和大使

吹田市の「平和大使」は、核兵器廃絶と世界の恒久平和実現への願いをこめて、市民の代表を広島と長崎へ派遣しているものです。原爆の恐ろしさを風化させず、後世に伝えていきたいと考えています。

### <吹田市の平和への取り組み>

|             |                                                                     |
|-------------|---------------------------------------------------------------------|
| 昭和20(1945)年 | 8/6 広島、8/9 長崎原爆投下<br>8/15 終戦                                        |
| 昭和35(1960)年 | 吹田市が「平和の塔」を国鉄吹田駅前に建設                                                |
| 昭和55(1980)年 | 「平和の塔」をJR吹田駅前に再建                                                    |
| 昭和58(1983)年 | 「吹田市非核平和都市宣言」                                                       |
| 昭和60(1985)年 | 広島・長崎への吹田平和健康リレーマラソン<br>広島市・長崎市へ吹田市長メッセージを届けた<br>(現在は吹田市内を走るコースで実施) |
| 平成5(1993)年  | 「非核平和都市宣言」10周年「平和大使」派遣(長崎)                                          |
| 平成10(1998)年 | 「非核平和都市宣言」15周年「平和大使」派遣(広島)                                          |
| 平成15(2003)年 | 「非核平和都市宣言」20周年「平和大使」派遣(広島)                                          |
| 平成20(2008)年 | 「非核平和都市宣言」25周年「平和大使」派遣(広島)                                          |

## 広島平和大使に参加して

吹田市人権啓発推進協議会会長 山本冬彦

今年の8月5日と6日の両日、5年に一度行われてきた吹田市平和大使の団長として、中学生の生徒諸君や人権協の地域の推進委員さんといっしょに広島へ行きました。大使団は5日の午後、広島平和公園に到着し、被爆者慰霊碑に献花し、原爆の子の像に地域の方々から平和の祈りを込め折っていただいた折鶴を捧げました。翌6日は、朝、8時からの原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に吹田市民を代表して参列。大会本部へ吹田市長からの平和のメッセージを届けました。式終了後、原爆資料館で被爆の生々しい傷跡をとどめる展示物を見て、核の廃絶、平和への願いを新たなものにしました。

参加していただいた方々からは「戦争の体験を風化させず、平和への願いを次の世代、未来の社会に伝えていきたい」という声があがり、参加した中学生との交流会のなかで若い人たちとの語らいも充実したものになりました。これを契機に人権協でも究極の人権侵害ともいえる戦争を起さないための取組を、ささやかでもいいから行っていけたらと思っています。

## 市民の願いをこめて 出発式...



「平和大使」を激励する阪口市長

## 植村牧場と般若寺を訪ねて



植村牧場にて

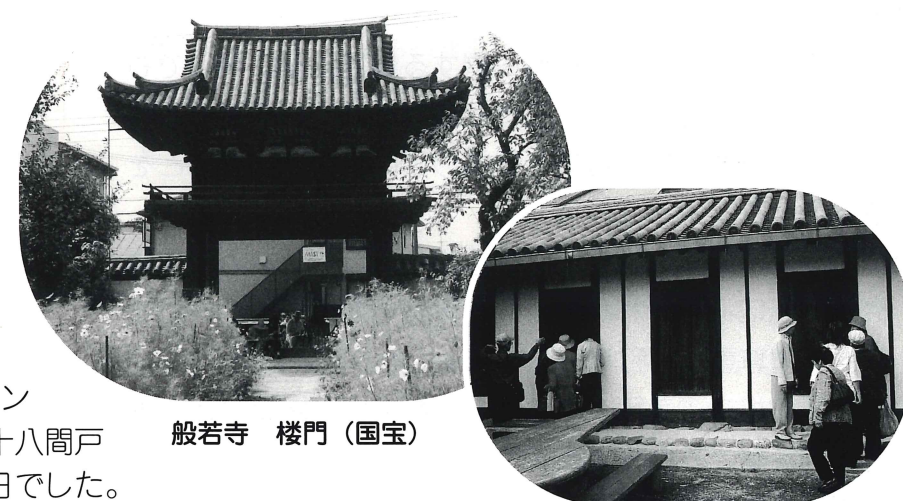
午後は、般若寺に行きました。鎌倉時代に般若寺を再興した叡尊(えいそん)上人とその弟子の忍性(にんしょう)上人は、貧窮病者の生活を支えることに生涯を捧げました。その二人の慈善救済事業に思いをはせながら、コスモスの咲く境内を巡りました。その後、忍性が建てたといわれている、ハンセン病患者等を収容していた施設・北山十八間戸を見学しました。とても有意義な一日でした。

地区活動の推進役として活躍している方々を対象に代表研修会を行いました。

9月27日(土)好天のもと、45名がバスに揺られて、まずは奈良市般若寺町の植村牧場を訪れました。

重度の知的障がい者を14人雇って牧場を経営している黒瀬礼子さんのお話を聞きました。「おねえちゃん」と慕われている頼もしさが黒瀬さんにあふれていました。

その後、30頭の乳牛や施設内を見学し、14名の仲間と元気に働いている黒瀬さんに参加者一同エールを送りました。



般若寺 楼門(国宝)

北山十八間戸

### 【参加者の感想】

- ・黒瀬礼子さんが重度の知的障がい者を受け入れている心の広さに感心した。苦労も多いと思うが、明るい方で驚いた。「出来ることを出来る範囲で」をモットーにしていると聞いて、私も出来ることを無理せずにこれからの人権活動をしていきたいと強く思った。
- ・般若寺では、叡尊と忍性が病人や貧困層の救済事業に尽力したことを聞いて感動した。これからは、感謝の気持ちを持って、地区の活動に努力したい。

## ～協力企業部会 人権啓発研修会～

4月25日(金)、谷村政廣さん(豊中企業人権啓発推進員協議会顧問)に「人権文化の花咲かそう」と題して、講演をしていただきました。講師のお話が分かりやすかった、人権問題についてよく理解でき、自分のこととして感じる事ができたなどの感想がありました。

6月17日(火)、大西英雄さん(大阪同和・人権問題企業連絡会理事長)に「職場のハラスメント～セクハラ・パワハラ～そして相談について」と題して参加型の研修をしていただきました。和やかな雰囲気の中に進み、改正男女雇用機会均等法の一つのポイントである「ハラスメント対策」を理解するよい機会となりました。